

授業科目	*助産診断・ケア学IV(新生児・乳幼児)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21204J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、樋口 由貴子、新郷 朋香							
授業概要	正常および正常逸脱にある新生児・乳幼児の生理機能や成長発達の特徴、および家族の心理・社会的側面から母子一体の視点をふまえた愛着形成や家族構築にむけた助産ケアを学修する。さらに自己練習やグループワークに主体的に取り組み、新生児の正常な胎外生活適応に向けた日常生活ケアや診察技術を習得する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児・乳幼児の形態・機能的特性および適応過程や発達について説明できる。 2. NICUにて管理が必要な児やその家族のケアについて根拠に基づき説明できる。 3. 新生児・乳幼児の成長・発達に必要なケアについて根拠に基づき説明できる。 4. 新生児・乳幼児のケアに関する課題について主体的に取り組むことができる。 5. 新生児・乳幼児のケアを倫理的態度をふまえ安全安楽に実施できる。 6. 新生児・乳幼児の健康状態を把握するための診察技術を正しく習得できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	25	10	5	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		15		5		50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			5				5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5			5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに達したうえで、新生児や乳幼児に関する課題や対象のケアのために必要な自己の知識や技術の向上を目指して主体的に自律して学習に取り組むことができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常および正常逸脱にある新生児・乳幼児の生理機能や成長発達の特徴、その家族の心理・社会的特徴や変化について根拠に基づき説明できる。 2. 新生児・乳幼児の胎外生活適応過程や成長・発達・愛着形成に向けた助産ケアを根拠をふまえて説明できる。 3. ディスカッションやアドバイスを活用して、新生児・乳幼児およびその家族へのケアにおける自己の課題について、取り組むことができる。 				

		4. 新生児・乳幼児の特徴をふまえて、健康状態を把握するための基本的な診察や成長促進に向けた基本的なケアを安全安楽に実施できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	新生児のケア(1)(古賀玉緒) 新生児の生理的変化・正常逸脱予防についてのケアについて解説する。	講義 演習	予習: ・教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 ・新生児の看護について自己の意見をまとめる。(詳細は講義内で説明する) 復習:講義内容について振り返りを行う。	30
2	新生児のケア(2)(古賀玉緒) 新生児の生理的変化・正常逸脱予防についてのケアについてまとめる。	講義 演習	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
3	新生児のケア(3)(古賀玉緒) 新生児の生理的変化について課題を活用しディスカッションをふまえて解説を行う。	講義 ディスカッション	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
4	新生児のケア(4)(古賀玉緒) 退院にむけた新生児のアセスメントとケア ・退院後1か月までの新生児のケアについて解説を行う	講義 ディスカッション	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
5	新生児のケア(5)(新郷朋香、古賀玉緒、山田恵) 出生直後の新生児のケア・新生児期の助産技術を計測機器や視聴覚教材を活用しながら実施する。 身体計測・成熟微候、児頭計測など	演習	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
6	新生児のケア(6)(新郷朋香、古賀玉緒、山田恵) 出生直後の新生児のケア・新生児期の助産技術を計測機器や視聴覚教材を活用しながら実施する。 身体計測・成熟微候、児頭計測など	演習	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
7	新生児のケア(7)(新郷朋香、古賀玉緒、山田恵、林好美) 新生児期の助産技術・ケアを事例をふまえて実施する。	演習	予習:助産技術を見直し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
8	乳幼児のケア(1)(外部講師 久木田穰次)	講義	予習:	60

	退院後の新生児・乳幼児の特徴(身体的・心理的成長発達、栄養)について解説する。 退院後の乳幼児の主な疾患・治療について解説する。		・教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 ・乳幼児の課題について自己の意見をまとめる。(詳細は講義内で説明する) 復習:講義内容について振り返りを行う。	
9	乳幼児のケア(2)(外部講師 久木田穰次) 地域における継続的な支援について解説する。	講義	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
10	乳幼児のケア(3)(樋口由貴子) 乳幼児の発達の促進にむけたケアについて事例を活用してディスカッションをふまえて解説を行う。	講義 ディスカッション	予習: ・教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 ・乳幼児の看護について自己の意見をまとめる。(詳細は講義内で説明する) 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
11	乳幼児のケア(4)(樋口由貴子) 乳幼児の発達の促進にむけたケアについて事例を活用してディスカッションをふまえて解説を行う。	講義 ディスカッション	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
12	低出生体重児・早産児のケア(1) (外部講師 荒木 俊介) 新生児の疾患と治療・NICUの概要、低出生体重児の特徴や新生児の主な疾患について解説する。	講義	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
13	低出生体重児・早産児のケア(2) (外部講師 荒木 俊介) 新生児の疾患と治療・低出生体重児・早産児の特徴および疾患をもつ児の主な治療について解説する。	講義	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
14	低出生体重児・早産児のケア(3) (外部講師 松村 美由紀) NICUにおける母子のケアについて解説する。	講義	予習: ・教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 ・治療を要する児と家族の看護について自己の意見をまとめる。(詳細は講義内で説明する) 復習:講義内容について振り返りを行う。	60

15	低出生体重児・早産児のケア(4) (外部講師 松村 美由紀) クベース管理の児のケアを実施する。(バイタルサイン測定、移動、注入、体位交換、ディベロップメンタルケアについて)	講義 演習	予習:教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。 復習:講義内容について振り返りを行う。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護基礎教育で学んだ母性看護学および小児看護学に関する知識や技術(目的や正しい手技)を復習して講義に臨んで下さい。			
テキスト	助産学講座8 助産診断・技術学[3]新生児・乳幼児期,石井邦子他編,医学書院 根拠と事故から見た母性看護技術,第3版,石村由利子編,医学書院 病気がみえる VOI.10 第4版,上田森生他編,MEDIC MEDIA 今日の助産マタニティサイクルの助産診断,改訂第4版,北川真理子他編,南江堂 日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト改訂,第4版,細野茂春監,メジカルビュー社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	助産学実習へむけて必要な知識・技術を学びます。講義・演習では、主体的に参加し、演習時は身だしなみを整え、円滑に展開できるよう準備・後片付けも自主的に行って下さい。 感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>評価は、試験およびレポート(以下参照)、発表(助産技術)、レポート以外の提出物(作成資料)、により判断します。レポートや提出物についてはコメントを添えて返却します。</p> <p>レポート1.「新生児の看護」(詳細は講義内で説明する) レポート2.「乳幼児の課題」(詳細は講義内で説明する) レポート3.「乳幼児の看護」(詳細は講義内で説明する) レポート4.「治療を要する児と家族の看護」</p> <p>なお、上記評価にて不可の場合は、筆記にて再試験を行います。</p>
--------------------------------	---

